

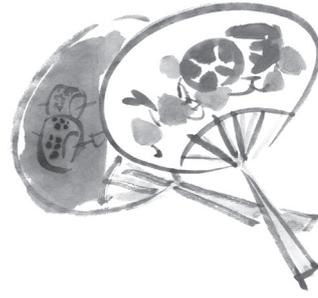
### 横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉						
E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可
〈移動機能〉						
戸外歩行可	室内歩行可	室内移動可	座位保持可	寝返り可	寝返り不可	

〈特記事項〉  
 C: 有意な眼瞼運動なし  
 B: 盲  
 D: 難聴  
 U: 両上肢機能全廃  
 TLS: 完全閉じ込め状態



当しない人工呼吸を要する小児は最近増えています。これらの小児に対し、私たちはどのように考えて発達支援をしています。

### あおばの 日常生活紹介

伊藤 沙輝

あおばは、入所者21名(横地分類A1が11名、A2が1名、A4が1名、B2-Bが1名、C1が2名、C4が1名、D2が1名、D6が1名、E1が1名、A1-TLSが1名)が生活しているゾーンです。

Aさん(横地分類A1)はリビング内を動く職員の動きや他利用者が遊んでいる様子な

どをよく見えています。幼児番組のアニメコーナーを集中してよく見ていることもあり、絵の動きや変化を見て楽しめるのではないかと考え絵本を用いた活動をしています。「いないいないばあ」という絵本を読むと、じつと絵を見て聞いています。「いないいないばあ」というフレーズの後、少し間をあけると次のページへの変化を期待しているようになり、じつと真剣な様子で左側のページに描かれている挿絵を見つめています。「ばあ」と次のページへめくると右側のページに移った挿し絵に視線が向いて、口元がゆるんで柔らかい表情になります。挿絵の動物の顔が見え隠れする変化を見て楽しんでいようです。

『がたんごとん がたんごとん』という絵本では、提供し始めの頃はページをめくると度に挿絵をじつと集中して見ている、一つずつ増えていく挿絵の変化を見て楽しんでいく様子でした。読み始めて2ヶ月くらいした頃から「がたんごとん」と繰り返しのフレーズから「のせてくさーい」のフレーズに変わるようになり、挿絵の変化を楽しむことよりも、繰り返

Bさん(横地分類A2)は他利用者の活動でギターを弾いたり絵本を読んでいたたりするのをじつと耳を澄ませて聞いていることがあります。『たこなんかじゃないよ』という絵本を読むと、動きを止めてじつと聞き入っている様子があります。「わたしはさんご、わたしはさんご、たこなんかじゃないよ」という繰り返しのフレーズになると、より集中して聞いています。途中、繰り返しのフレーズ以外の部分を読んでいる時に意識がそれることもあります。繰り返しのフレーズになると



しの変化にも少しのさを感じて楽しんでいくようでした。繰り返して読んでいくうちに楽しいと感じる部分が変わってきたのだと思います。



集中している表情に戻り、じつくりと聞いています。同じフレーズを繰り返すリズムを楽しんでいるようです。

豆の落ちる音の変化を聞く活動では、一粒ずつ「ポトン・ポトン」と落とした後、滝の音のように「ザー」と一気に落とすことを繰り返すと、豆の音に集中して聞き入っている様子があります。その後、豆を波の音のように「ザザザザ」とゆつくりとかき混ぜて音を出すと、音の変化に気が付き、目を大きく見開いて音がしている間体の動きを止めてじつと聞いています。「ポトン・ポトン・ポトン・ザー」の繰り返しのリズムと、その後に来る「ザザザザ」というリズムの変調があることを楽しんでいたように思いました。